第二学年国語科　学習指導案

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　日時：平成28年9月16日（金）第1校時

 　　　　　　　 実習校：東京学芸大学附属高等学校

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　担当学年：2年A組

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　授業者：後藤祥太

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　指導教諭：日渡正行 先生

1. 単元名

◯「永訣の朝」を読み解こう

出典：現代文B　「永訣の朝」　宮沢賢治作

1. 単元の目標

・作中から作者の思いや願いを適切に引き出し、自分の言葉で表現することができる。

・表現方法や詩の作りを理解し、それを用いた理由を考察することができる。

1. 評価

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 関心・意欲・態度 | 読む力 | 知識・理解・技能 |
| ・作品を読み解くために作品の背景や人物像など様々な観点から読もうとしている。 | ・作品の内容を理解するだけではなく、様々な観点を持って読み進めていき他の生徒と議論していくことができる。 | ・詩の中に存在する表現方法や詩の構成、作者の主張したい部分などを適切に理解できる。 |

1. 指導について

◯単元設定の理由・教材観

本教材は宮沢賢治の妹が他界する時の様子とその時の賢治の心情を描いた詩教材となっている。この詩の中には、賢治と妹に対する激しい悲しみや純粋な悲哀等の感情が表れており、それらが賢治独自の表現として数多くある。また、この詩には賢治が昔から深く信仰している法華経の思想も入ってきており、それは賢治の妹トシ子が家族の中で唯一の同じ法華経信者であり、そういった賢治と妹の関係性からも詩を読解していく必要がある。つまり、この教材は多角的な視点から内容を捉えていかなければならない。よって、今回はさまざまな視点に分かれて本教材を生徒に研究させ、それを最後に統合させていくことで１つの解釈を作り上げていくことがより良い多くの気づきと学びをつくることになると考えた。その中で、この詩の中で大きなテーマの一つとなっている「生」と「死」を意識して読んでいき、共感的な読みを作り出すことが重要だと考える。

1. 単元指導計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 次 | ◯学習活動　→指導上の留意点 | △評価基準 |
| １ | ◯全文を各自で読み、そこから自身の初発の感想を書いた後、印象に残ったキーワードや観点を洗い出し、そこから興味あるもの・注目したものに分かれてテーマ毎にグループ学習を行っていく。→同じようなテーマにならないようにその時の状況や時代背景、導入時でのこの詩に込められた思いや賢治と妹の関係性を考える時間を作りたい。 | △表現方法や詩の構成、キーワードを正しく取り出すことができる。△詩の中に存在する大きいテーマ「死」から「生」を捉えることを踏まえた上で、自分自身の考えたいテーマに沿って考察することができる。 |
| ２ | ◯グループのテーマに沿って、付箋などを用いて議論していく。賢治の心情、願い、詩を作成したいとなどに近づけていく。→グループ毎に大きな画用紙を用意し、そこに付箋を用いることでより分かりやすくシンプルな区分けを行えるようにしたい。また、付箋を用いれば思いついた意見を書きやすく、違うように感じれば外しやすいというメリットも持っている。 | △多角的なテーマから詩を見つめていき、根拠を持ったグループ間での読みを作り出すことができる。 |
| ３ | ◯グループ毎でそれぞれのテーマに沿って詩の解釈に対するプレゼンを行い、それらについてグループ間での意見交流を行った後にまた詩に対する解釈を書く。→単元の学習活動の最初と最後に感想を書くことで、生徒の意見の変化を比較しやすく、生徒自身の学びにもつながる。また、グループで製作した画用紙もそれを作り上げるのに大いに役立つと考える。 | △他グループの意見やプレゼンを聞いた上で、自分自身が感じたことを中心に自分なりの詩の解釈を表現することができる。 |

1. 本時の計画（2/3時間）

◯本時の目標

・詩の解釈をテーマに分けて、考察していくことができる。

◯本時の展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時 | ◯学習活動 | →指導上の留意点 | △評価 |
| 導入10分 | ◯前時の活動を振り返り、前回の感想の疑問点等を出していく。 | 「永訣の朝」を読み解いてみよう→感想の中から、本教材の解釈に必要で重要となってくる部分を疑問点として抜き出していき、生徒が調べる観点を作りだす。 |  |
| 展開35分 | ◯グループで決めたテーマに沿って、必要な情報を調べていき、プレゼンテーションを作っていく。 | →プレゼンテーションの形式やその時に提示する資料の見本を作り、より具体的なイメージを作れるようにする。→机間指導の中で、生徒の調べているものの把握を行いながら、適切な発問を行うことで、詩への理解を促したい。 | △多角的なテーマから詩を見つめていき、根拠を持ったグループ間での読みを作り出すことができる。 |
| まとめ５分 | ◯次回に行う活動を教師が事前に伝えておき、プレゼンの計画や調べ学習の進め方等を話し合う。 |  |  |

1. 板書計画

　「永訣の朝」を読み解こう

　　◯妹トシの死因

　　　↓餓死？

　　◯「あめゆき」なぜこれが欲しかったのか？

　　◯かけた陶椀↓なぜかけている？

　　◯太陽・銀河・気圏↓どういう発想なのだろうか？

　　◎プレゼンテーションについて

　　　・時間は２分間

　　　・画用紙に付箋を貼って、要点をまとめる

　　　・詩の解釈に役立つであろう部分